

新市長の市政運営の理念を問う

24年度決算議案はすべて撤回される

国分寺市議会は、第2回臨時会を7月29日に開催し、会議の冒頭、井澤新市長の「所信表明」が行われました。また市立本多図書館駅前分館設置に係る損害賠償請求事件の控訴を提起する議案を含む、市長提出議案3件を可決しました。

第3回定例会は、9月2日から10月2日までの31日間の会期で開催し、市長提出議案21件を可決しました。

また市長の「所信表明」に対して各会派の代表質問や20名の議員が一般質問を行い、新市長の市政運営について質しました。

さらに市長より、小金井市からの可燃ごみ処理支援の依頼があった旨の「行政報告」がありました。



都立武蔵国分寺公園 泉町2丁目1番

異例の事態により、24年度決算議案は撤回

決算議案の審議は、前年度の予算執行状況やその効果の評価を行い、翌年度の予算編成に反映させるなど、議会の監視機能を果たす重要な審議の一つです。

平成24年度の各会計の決算議案は、決算特別委員会（及川妙子委員長、いとう太郎副委員長）で審査を行いました。

審査の過程で、決算議案とともに地方自治法で提出が義務付けられている監査委員の意見書で「不適切な支出処理」と指摘された、「国民健康保険運営協議会議事録作成に係るテープ反訳委託料」に関し、当該事務担当者が監査委員に誤った説明を行っていたことが明らかになりました。その結果、監査委員の意見書の内容が事実と異なっているという重大な事態となり、議案審査は中断となりました。

その後市長より、当該事務担当者が監査委員に誤った説明を行った事の重大さを踏まえ、各会計すべての決算議案が撤回され、決算議案は議決に至りませんでした。

24年度の各会計決算は、議案の撤回という異例の事態により、今後市長からの再提案を受け、改めて議会で審議することになります。

一般会計補正予算を可決 不透明な市の意思決定過程を指摘

議案第94号25年度一般会計補正予算（第3号）は、庁内の新基幹系システム等導入・運用委託事業他7件の債務負担の追加、（仮称）姿見の池周辺地区用地取得事業債限度額の増額、国庫支出金等超過収入額返還金・障害者就労支援経費・焼却場施設等維持管理経費・基金積立金等の増額、議員の辞職等に伴う議員報酬不用額・新教育事務システム導入等委託経費・北口再開発特別会計繰出金等の減額により、予算総額を4億8,516万5千円増額し、366億3,148万7千円とする、というものです。

また本案は、新教育事務システムの契約不調により、システム導入期間や調達期間を変更した市の意思形成過程が極めて不明瞭である、と

の委員会の指摘を受け、当該補正内容を削除し改めて市長より再提案されたものです。

本案の審査を行った補正予算審査特別委員会（片畑智子委員長、釜我健二副委員長）では、上記の指摘のほか、普通交付税の増額理由、中学校部活動休廃部防止に係る外部指導員導入促進補助事業、街頭防犯カメラ補助事業、生活困窮者自立促進事業、国民健康保険運営協議会の議事録、家庭ごみ減免申請に係る手数料相当額の返還方法、防犯灯の設置、庁用車事故防止策、敬老会等について質疑を行いました。

委員会では賛成多数で可決し、本会議でも賛成多数で可決しました。

討論の要旨

反対）本補正は、国保会計の赤字解消や縮小のための予算措置が講じられておらず反対する。
賛成）財政の硬直化を招く債務負担の設定は、根拠や妥当性が求められる。議会の指摘を踏まえ、新教育事務システム導入等委託経費を削除して議案修正した市長の決断を評価し、賛成する。

特定建築者基本協定締結保証金収入を含む、 国分寺駅北口再開発事業特別会計補正予算を可決

議案第80号25年度国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）は、特定建築者との基本協定締結保証金確定による諸収入の増、9月末明渡しとなる権利者補償費の増、次年度への明渡し時期の繰延べによる補償費の減、再開発事業臨時基金積立金の増、前年度起債利子額の確定に伴う公債費の減等により、予算総額を4,979万3千円減額し、75億7,815万円とする、というものです。

審査の過程で、予算の一部計上漏れにより、今年度の補償費支出を次年度へ先送りする補償費から充用していたことが明らかとなり、答弁調整のため長時間審査は中断となりました。

審査再開後に市長より、今回の事務執行は適正さを欠き、再発防止に取組む旨の発言がありました。

主な質疑の要旨

問）補償費6億1,200万円の増額理由は？
答）当該権利者提出の決算書等を基に営業休止

補償費を再精査した結果によるもの。当該補償費のうち、移転補償は都補助対象で、都の審査が及ぶもので適正なものと認識している。

問）権利者の休業期間中の他地域での営業は？
答）補償契約不履行となり不可能である。

問）償還金利子の減額理由は？

答）昨年度起債等の利率確定によるもの。

委員会では賛成多数で可決し、本会議でも賛成多数で可決しました。

討論の要旨

反対）権利者への補償額は、妥当性や客観的な根拠が必要で、また今後再開発事業費の増大も懸念され反対する。

賛成）権利者への補償費は議会も介入しがたい。今後の適切な事務執行を強く求め賛成する。

公立高校授業料無償化等に伴う「奨学資金支給条例」の廃止条例を可決

議案第73号奨学資金支給条例を廃止する条例は、公立高校の授業料無償化や就学支援金創設に伴い、26年1月1日に条例を廃止する、というものです。

主な質疑の要旨

問）「授業料分の支給」との規定はないが？

答）規定はないが、これまで都立高校授業料の変更に合わせて支給額を改定しており、授業料分と認識している。

問）特別支援学校高等部の生徒を対象外としている理由は？

答）当該校も現在授業料は無償で、授業料無償化前も無償に近い授業料であったため対象外としていた。

委員会では賛成多数で可決し、本会議でも賛成多数で可決しました。

討論の要旨

反対）・低所得者世帯の負担軽減を目的とする本制度の廃止は、市民の暮らしの実態を無視するものであり反対する。

・本制度の廃止は、教育上のサービスの著しい低下であり反対する。

賛成）制度廃止後も就学困難な生徒への支援に努める旨の市の見解を了とし、授業料無償化との整合上、廃止は妥当と判断し、賛成する。

市政を問

平成25年第3回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問の順番で掲載しています

井澤市長のバランス感覚に大いに期待する



自民党新政クラブ 田中 政義

1. 財政再建について

問) 厳しい財政状況の中、これまで民間にお願いできるものは民間に、としてきた。井澤市長もPPPと題し方針を出されたが具体的には？
市長) 特に新しい事の意味ではなく、非常に厳しい財政運営の中、公共と行政が連携して市民力を利用しながら進めていく事であり、財政の負担が少しでも軽減されるような形で進めていきたい。

2. 市民力の活性化について

問) どのような分野でどのような方法で引き出していかうと考えているのか？

市長) 歴史や文化的といった静的なイメージがある国分寺からもっと魅力を発信する事も含めて躍動するような国分寺を求めていきたい。市民の方々を持つ知恵や企業、団体等を持つノウハウは国分寺の財産である。多くの方に市民として市と一緒に地域のために活躍して頂けるような政策を考え、進めていきたい。

3. ぶんバス新規ルートについて

問) 現在3ルートで検討されており、この秋から試験運行されると認識しているが。
市長) 具体的な進行状況を精査したところ、警視庁協議が整っておらず、まだ実施できる状態でない事がわかった。遅れている事に対しお詫び申し上げますと共に、少しでも早く実現できるように組織の整備も含めて整えてまいりたい。

4. 都市基盤整備について

問) 具体的な進め方、市長の考えは？
市長) 都市マスタープランによって進めていく。平成25年度から3カ年で改定を行って行く中で、まちづくりのプロセス、優先度や具体化について明確化していく事で整備を進めていく。

5. 市役所庁舎の建設について

問) 新庁舎の検討は急務であると思うが、市長はどのように進めていくつもりか？
市長) 基礎的なデータや建設手法を研究しながら進めていきたい。財政上の折り合いをどのようにつけるかが一番大きな問題だが、市民の皆様が納得頂ける形で計画を練ってまいりたい。

思いやりの心あふれる市政の実現を



公明党 木島 たかし

●厳しい市財政をどのように克服するのか

木島) ①市長自身の市財政の現状認識は。
②その状況を踏まえどう改革に取り組むのか。
市長) ①いまだに400億を超える借金があり、基金も少ない。厳しい状況だと認識している。
②決算上生じる多額の不用額の精査や、民間の力を借り資金を外部から導入をする等、創意工夫と知恵で税収だけに頼らず財源を確保したい。
●事業進行管理とスピード感の意識改革を

木島) 重要事業に指定されているにも関わらず、成果が挙がらない事業が散見される。また市民との信頼関係を築く上で、相談を受けたことに対して出来る限り速やかに返答をするべき。

市長) 厳格に行い、改善に向けて取り組みたい。

●市民本位で「縦割り行政」からの脱却を

木島) 縦割り組織の弊害をどう取り除くのか。
市長) 市長、両副市長、教育長の四者が連携し、各部署で必要な限り連携し、相互にプロジェクトを組む等、柔軟な体制を築きたい。

●国分寺駅北口再開発の実現に全力を

木島) 職員のミスが相次いでいる。危機感を強く持ち、油断を排することに尽きる。

市長) 財政にも大きく影響し、市の命運をかけた事業であるとの認識で事務に当たっていく。

●いじめのないまち国分寺の実現を

木島) 仮称「いじめ虐待防止条例」制定に向けた取り組みを早急に開始すべき。

市長) 年度内をめどに制定に向け取り組む。

●安心の保育環境の整備を

木島) 待機児解消には障がい児への対応も含まれることを強く認識いただきたい。

市長) 民設園の増園等で解消に向け取り組む。

●ぶんバス新規ルートの対応方針について

木島) 新規ルート試験走行の延期をどう認識。
市長) 遅れていることをお詫びし全力で取り組む。

●市民サービスを向上させるための改革を

木島) 所信表明で触れられた「国分寺版・新しい公共の可能性に挑む」の考え方は。
市長) 事業の特性に応じて民間や市民と共に協力しながら進めていく、という考えだ。

市民の暮らしを
守り支える市政に転換を

日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜国政について経済政策、憲法、原発＞

岡部) 国の施策いかんによっても国分寺市民の暮らしが大きく左右されることになる。国政の重大問題について市長の姿勢を問う。

アベノミクスでは国民の暮らしや経済はよくなるかと思える。賃金を引き上げることが経済を再生させる道だ。

市長) アベノミクスの効果が労働者の賃金にまで早く反映されることを期待している。

岡部) 社会保障の大幅な切り下げや負担増はやめるよう国に意見を述べるべき。

社会保障のためとの理由で消費税増税する一方で社会保障を削減する計画で増税の目的は完全に破綻している。

市長) ふえ続ける社会保障費をどうやって賄っていくのか、消費税を目的化して上げる必要性が私はあると思っている。

岡部) 憲法9条の平和主義は国分寺市の平和の取り組みの大前提。憲法解釈の変更、明文改憲いずれも行うべきではない。

(この点については市長は見解を述べず)

＜北口再開発で市民を犠牲にしているのか＞

岡部) 北口再開発の推進はとりもなおさず星野前市長の政策をそのまま進めること。再開発推進のもとで市民生活に多大な負の影響を及ぼし

てきた。国分寺市政最大の問題点だと考える。

市長) 私はそう思っておりません。

岡部) そもそも再開発という莫大な予算を要する事業を市政の最優先課題と位置付け推進してきた方針そのものが根本の誤りだった。

自転車駐車場の問題では、鉄道事業者へ責任と負担を求めるべきことを改めて訴える。

＜保育などの事業を民営化すべきでない＞

岡部) あくまで市が保育実施に対する責任を果たすべき。保育水準を低下させてはならない。全体計画を進めるのではなく、現状の公設公営6園の維持を大前提とすべき。

市長) 民間が公設に劣るとは考えていない。

岡部) 市がこれまで福祉や教育などの現場で積み上げてきたものを手放してはならない。

財政が厳しいからこそ
優先順位を明確にせよ

国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) アウトソーシングはコスト削減が目的ではなく、あくまでも市民サービス向上を目指すべき。質の確保に向け「適正な価格を算出」することを、改めて庁内各課に徹底せよ。

市長) 質の低下を招いてはいけぬ。公共調達条例の趣旨にのっとり、総合的な選定を行う。

問) 道路行政について、今後どのように優先順位をつけ、具体的に実行していくのか。

市長) できる限りの対応をすべきと考えるが、財政的にも非常に厳しい。考慮しながら進める。

問) 現在ある約300もの市の施設について、長期的な視点を持ち、人口増減や年齢構成、住民ニーズなどの変化を踏まえた施設の配置・再編・更新計画を持つべきと考えるが、いかがか。

市長) 更新費用の試算は約480億円となる。公共建築物の情報管理台帳を6月に作成し、今後は検討委員会を立ち上げ、計画策定を進める。

問) 必要な事業に十分な予算を確保するには、事業の統廃合という厳しい選択も求められる。市民への説明責任も含め、市長に覚悟はあるか。

市長) 事業を取り止めることについては、非常な決断と丁寧な説明が必要であると思っている。

問) 市民等と行政との協働だけではなく、市民団体と市民団体、市民団体と事業者、大学と事業者など、様々な連携・協働がある。国分寺市版の新しい公共をつくっていただきたい。

市長) 実績が得られるような民間との協働、民間同士との連携を図っていきたく考えている。

問) 芦屋市の「お困りです課」を参考に、広聴を兼ねた市民の総合相談窓口の開設を求める。

市長) 必要性は感じるが、研究させてほしい。

問) 障害者や高齢者の置かれている状況や状態、課題は様々である。個別詳細な具体策を。

市長) 施策のすき間にあるために、サービスを受けられないとか不自由な状況にあるということ解消していきたいと思っている。

問) (仮称) いじめ虐待防止条例策定において、市民参加・子ども参加は不可欠と考える。

市長) 子どもの側やいろいろな方のご意見は聞いていく必要があるだろうと思う。

失われた12年を取り戻す 市政の抜本改革を！



政策市民会議国分寺 木村 徳

問＝前市政時代にも、職員の意識改革を求めてきたが全く実現しなかった。新市長として、今後の意識改革をどのように行っていくのか。

市長＝職員個々の能力を120%引き出せる組織作り、そして縦割りではなく、何のために仕事をするのか自覚をできるように変えていく。

問＝では、それがこれまでできていなかった理由はどのように考えるか。

市長＝仕事において達成したことに対する評価の問題。そして、問題に対し組織としての責任を負う体制の不足である。

問＝同感である。例えば課長が答弁に窮している時、市長・副市長は黙っている。フォローしても特定の部下のみで、耳には痛くとも適切な意見を述べる職員は遠ざけていた。

市長＝正当な評価を受けることは重要なことだ。まずいことは指摘し、成果は評価する。今後はそうした市政を心がけていきたい。

問＝職員が仕事に責任と自覚を現状持てない象徴として、名札がある。職員の名札は部署の一切記載もなく、職員名も名字のみだ。

市長＝私の感覚では民間は部署とフルネームは入っている。改善を図っていきたい。

問＝情報公開・情報共有に関し、これまでは議会や市民に情報を隠すような状況が見られた。個人情報等の例外を除けば、原則全て公開であるにもかかわらず、こちらが予め調べて発言したことを、「情報を漏らしたのは誰だ！」と犯人捜しを始める幹部職員がおり、本末転倒だ。

市長＝そういう事態が生じないように私がしっかりと管理していく。

問＝以前より、いじめ虐待防止条例制定を求めてきた。市として対策を速やかに講じるべきだ。

市長＝いじめ問題は待ったなしだ。今年度中に検討を終え、来年3月をめどに条例提案する。

問＝新市長として現在、新副市長候補たり得る人材がいると考えているか。

市長＝複数いる。

問＝井澤カラーを鮮明にし、それを推進していく補佐役は誰が適任か、市長の英断を望む。

決意と覚悟を持って 行政改革断行を！



無党派(みんなの党) おざわ 脩

●覚悟を持って国分寺市の行政改革を

尾澤) 所信表明で謳われている「役所機能のスリム化」を進める具体的な施策はあるのか？

市長) 市民の側から見てわかりやすい組織への再編を基本にめり張りを付けた人員投入、及び役所機能の民間委託も考えていく。

尾澤) 役所の窓口業務も民間委託を考えるべき。

●子どもをいじめや虐待から守るために

尾澤) 市長の掲げている「子どもを守る」という事は(仮称)いじめ虐待防止条例があれば守れるのではなく、現場での実行力のある政策が伴って初めて意味を成すものである。

●情報公開と情報共有を求める

尾澤) 更なる情報公開と情報共有を推進するにあたって具体的な施策はあるのか？

市長) 議会への透明性の確保、市民には市報等で財政状況の説明頻度を増やし掲載する。

尾澤) 市民・議会に対して本市は隠蔽体質であると言わざるを得ない状態だった。新市長の下、信頼回復のために速やかな改革を強く求める。

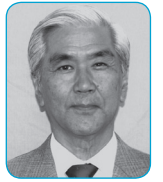
就任早々次の市長選で 庁舎建設問うと驚発言



無党派(無所属) 甲斐 よしと

所信表明で「災害時の拠点となる市役所庁舎の建設の検討を始めていくことにより、市民の皆さんの生命や財産を守ってまいります」また市長就任式にも「第一に市民の生命を守るために災害の拠点となる市庁舎の建設を進めたい。災害時の動脈としての道路を進めたい」と言うが、市民の生命を守ることが庁舎・道路建設なのか。古い体質のまま。北口再開発は115億返済済。北口に新規福祉も我慢させられ焼却場の共同建設もある。就任早々次の市長選なんて不謹慎だ。

真に市民に信頼される 市政の再建を求める



無党派(社民党) 釜我 健二

釜我＝前市長は任期中に不適切な行政執行等で25回処分を受けた。新市長にはこの負の行政を断ち、市民に信頼される市政の再建を求める。

市長＝仕事の仕方と分析している。職員と一丸となって、仕事の仕方の改善を図りやってくる。

釜我＝①星野市長は公民館事業費を50%も削減したが見直すべきだ。②公民館使用料は有料化ありきでなく、無料制の維持を含めて検討を。

市長＝①教育委とよく協議し検討する。②改めて再検討する。来年に向けてしっかり精査する。

市政を問

平成25年第3回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

新市長の政治姿勢と 組織改革他について



自民党新政クラブ 須崎 宏

問 新市長の政治姿勢と組織改革他について

市長 両副市長教育長を含め意思の疎通を常に頻繁に行い市内全体の組織としてまとめていく。観光行政については担当課を置き積極的に全国にアピール出来るような市をつくらせていきたい。

問 史跡公園整備について

①農地の追加指定と東山道の調査について

部長 第2次国分寺跡保存管理計画で史跡の追加指定について基本的な考え方を示している。東山道について地主さんの協力を得て今年度中に道路構造と史跡としての内容を確認する予定。

②文化財について

部長 来年度から5年間かけて調査し、歴史上芸術上の価値など判断し、市の重要文化財として指定を図って保護を進めていく。

問 市内観光について

観光馬車運行と保育園跡地の有効利用について

副市長 条件的に非常に魅力ある場所と関係者

も申しており、馬車の運行について協議に入る。

問 ぶんバスについて

万葉ルートの決定と料金について

市長 専任担当者を設けて指示を早速に出して3ルートの実施に向けてしっかり進めていく。料金については近隣市との比較もあり、調査もしっかりした上で全体的な計画の中で考える。

問 野川及び3・4・11号線について進捗状況は

部長 野川に関し東京都と市の具体的な役割等

協議し事業化のスケジュールの検討をしている。さらにまちづくりなどの部分を調整して進める。

部長 3・4・11号線について第3次事業計画で定められており、住民意向を把握し基本調査を今年度来年度にかけて住民懇談会を実施する予定。

問 災害対策について防災井戸の増設を

部長 長期総合計画の後期基本計画の中で位置づけがあり、それに基づいて今後検討していく。

請願・陳情を提出する方へ

陳情の取扱いが変更されました

6月1日より、委員会で審査される陳情の取扱いを次のように変更しました。「提出者及び署名者等の合計が10名未満の陳情は、委員会審査は行わず、全議員に配布して陳情の要望内容を伝える」こととなります。

また、平成25年第4回定例会から審査を希望する方は、11月7日(木)までに議会事務局へ提出してください。

※詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

調査担当(内581)

委員会と会派について

市議補欠選挙で当選した2名の議員が所属する委員会と会派が下記のとおり決まりました。

委員会

尾作義明	建設環境委員会
	国分寺駅周辺整備特別委員会
村松俊武	文教子ども委員会
	ごみ対策特別委員会

会派

尾作義明	自民党新政クラブ
村松俊武	無党派・生き活き

庶務担当(内467)

消費税の増税と 低金利に対して！



無会派（みんなの党） いたう 太郎

まずは歴代市長で大手企業の幹部社員で、国分寺市議会議長を経験している市長はいませんでした。新市長に期待しています。

質) 国は消費税の増税を消費者物価指数が、2%上がればデフレは解消されていると判断すると公表されています。本来なら給料が上がった、契約社員の方が正規社員になれた、新入社員の募集が増えた段階で増税すべきではないでしょうか？いま市民は相次ぐ値上げで大変苦しい状況にあると多くの方からご意見を頂いています。市長としてはどの様に考えていますか？

市長) 地方自治体としては、一定の賃金水準を確保する。そして地元企業を育成し出来る限り、支援していかなければならない。

質) 低金利について伺います。市としては行革市政にするのか、積極財政に踏み込んで市の公共投資に資するのか教えてください。

市長) このあたり、本当に財政運営の難しいところだと思います。事業の必要性、緊急性を勘案すると低金利を思い切ってやる判断が入る部分は確かにあると思います。

質) 私が質問する意図は行革市政だと出来なかった積み残しがたくさんあります。例えば市民の生命と財産の為に道路整備等をしっかりやって市民の方々に30年間ご負担を頂くことも、考え方の一つだと思います。

質) いじめ防止条例の現状を教えてください。

市長) いじめ・虐待・体罰条例を早く提案したい、特にスピードを大切にしたいと思います。

質) 再開発について伺います。もう既に解体工事等が始まり、やっとスタート地点に立った感じがします。そこで反社会的勢力が関係してくる可能性を心配していますが、どうでしょうか？

市長) 工事が始まる色々な方が可能性がある中で、小金井警察と連携を図り進めていく。

認知症早期発見の為の すばやい対応を求める



公明党 さの 久美子

1. 平和への取り組みについて

平和を学ぶことは、生きている素晴らしさを知ること。継承も大事な課題である。来年の非核平和宣言都市30周年の取り組みは、一人でも多くの方にお知らせする啓発が大事。市長) 広島に行き、継承の大切さを感じた。来年は平和の大切さを訴えるイベントを考えてまいりたい。

2. 安全・安心のまちづくりについて

(1)防災訓練について 訓練に参加すると自助・共助の必要性を実感する。そのために、参加をしていただく工夫が必要。市は訓練でみえた課題に対して、きちんと詰めるべき。市) 来年度は訓練参加の啓発の強化をしたい。総合防災訓練では、電源確保の問題が明らかになった。

(2)災害時要援護者支援について 福祉避難所の協定締結をした施設との訓練が必要。また、知的障害者や外国人への情報提供支援策としてコミュニケーション支援ボードを作成し、避難所等に設置をすることが大事と考える。市) 今年

度中をめどに、国分寺市オリジナルのコミュニケーション支援ボードを作成し、活用したい。

3. ごみ減量化について

集団回収の中で「その他の紙」の回収を効率よく運用すれば、市の回収の隙間を埋められ、市民も助かる。古紙持ち去り禁止条例の検討は進んだか。市) 集団回収拡充策として、説明会等で取り扱い品目や業者の紹介を積極的に行いたい。条例は来年度の早い時期にご提案したい。

4. 認知症対策について

(1)認知症サポーター養成講座を行った企業に成果有無のリサーチをして、今後の問題点を見出すべき。市) 調べて公表していきたい。

(2)早期発見・早期診断のために、HPに認知症初期症状スクリーニングシステム導入を求める。市) 財源を含め、検討していきたい。

安心、安全は 始めの一歩！



自民党新政クラブ 尾作 義明

1. ペットボトル収集について

尾作) ペットボトルの拠点収集の為、拠点の有り無しで地域での行政サービスのムラが現れている、認識はあるか？

部長) 認識している。拠点を増やす努力をしている。戸別回収への希望も理解している。地域と連携して増設を進めたい。

2. 街頭防犯カメラの設置について

尾作) 現在、市内では4台のカメラが稼働している。今後の取り組みについて伺いたい。

部長) 新設の箇所もあり、防犯意識とカメラ設置の機運の有るところに積極的に進めたい。

尾作) 運用にあたっては設置者、市、警察の三者で同じ認識の下、推進すべき。

3. 多喜窪通り（都道145号線）について

尾作) 多喜窪通りは緊急の輸送路となっているが現状の利用にも不安がある。以前から拡幅の要望があるが進捗は如何か？

部長) 都への要望を重ねているが難しい。

尾作) 今後も継続して強く要望してほしい。

4. 商店会設置の装飾街路灯について

尾作) 市内各地の商店会で設置した装飾街路灯の老朽化が進んでいる、認識はあるか？

部長) 経年化している状況と思っている。

尾作) 公共性の高いものであり運用費また建て替えも視野に入れ今後の対応をお願いする。

5. 防災計画

尾作) 震度5弱以上の震災発生時に起動する地域防災計画では本部を第4庁舎に置くとなっている。備えは充分か？

部長) 必要機材、耐震性とも整っているが、様々を想像すると狭隘で有る事は否めない。

尾作) 防災については「備えよ常に」の考えが大切であり、常により良くなることを進めてほしい。新市庁舎の検討も必要と思う。

他市の先進事例を参考に 新たな取り組みを！



自民党新政クラブ 楠井 まこと

先進市の取り組みについて。国民健康保険事業に関して、東大和市が導入した診療報酬明細書の分析及び国保加入者への健康指導サービス事

業について、市の考えは？

福祉保健部長) レセプトを分析して生活習慣病などの改善提案、ジェネリック薬品の利用促進によって、医療費の削減を目指す事業。本市の国民健康保険特別会計は平成21年度から歳出超過。早急に調査、導入検討を行いたい。

次に広域連携について。以前から推進されている小平市との広域連携について、進捗状況は？

政策部長) 図書館については、府中市、国立市との相互利用を実施中。小平市とは年内に協定を締結したいと考えている。また、小平市と職員の相互派遣を実施。体育施設についても、相互利用できるような仕組みを年内に整えたいと考えている。文化施設の利用等々についても、踏み込んで広域連携を強めていきたい。

佐賀県武雄市や宮城県多賀城市がT S U T A Y Aと図書館運営で提携を実施。市の考えは？

政策部長) 武雄市の例は参考にしている。担当の教育委員会の考え方も踏まえ、検討する。先進的なサービス導入を検討するにあたって国分寺市が単独で実施するより他市と共同で行ってスケールメリットを生かす事ができれば、利便性も向上しコスト面でも有利なのでは？

政策部長) アウトソーシングも含めて、市単独では、規模が小さ過ぎるなど、難しい事もあるが、広域を連携して少しボリュームを増やす事によって、それが可能になってくる事もあると思う。小平市とは、そのような事も含めて検討する必要があると考えている。

(その他、窓口業務のアウトソーシングについて、組織の活性化について、市民との協働について質問をいたしました。)

ぶんバス試験運行の延期 早急に市民説明を！



公明党 高橋りょう子

(1)市民サービスの第一歩はあいさつから

問) 新市長就任に当たり提案。職員は市民サービスのプロ。来庁される市民に対しさわやかな挨拶と親切な接遇対応への意識改革を。

市長) 挨拶はコミュニケーションの始まり。人と人とを結ぶ大切なもの。庁内に徹底したい。

(2)安全・安心の「空き家対策」について

問) 空き家の火災や倒壊、樹木の繁茂、動物の住み着き、ごみ問題など、近隣住民から不安の声が。市民が安心できる空き家対策を。

市長) 防災・防犯上の危険を認識している。窓口を一本化し条例制定に向け取り組む。

(3)市政施行50周年記念行事運営計画について

問1) 明年は国分寺市政施行(S39,11,3~)50周年の佳節。次の世代に継承する大事な節目。どんな計画、取り組みを考えているか。

政策部長) 市民ワークショップで未来の国分寺につながるものを検討・準備している。

問2) 次の佳節100周年に中核となっている児童の作文で「国分寺史跡マラソンを」と夢のある提案をしてくれた。是非取り組んで如何か。

教育長) 応援を通して町が盛り上がり一体感が生まれる。是非進めたい。

市長) 実施したい。

(4)ぶんバス試験運行と本格実施への考え方

問) 地域住民待望のぶんバス北町ルート。9月に試験運行実施と表明しながら未だ運行されず、その理由も市民に報告されていない。明確な市民説明と一日も早い試験運行、本格実施を！

次ページに続く▶

都市建設部長) 実施できなくなった段階でお知らせすべきだったと反省している。9/15市報で延期のお知らせをし、実施に向け尽力する。その他) ①市民公募写真を葉書にし広報宣伝。②後発医薬品ジェネリックの費用負担を軽減する差額通知推奨に着手すべき。など質問。

子家センター、西国周辺、自治会・町内会他



政策市民会議国分寺 及川 妙子

- 子ども家庭支援センターについて

(1)虐待通告対応の流れについて=終結が23年度17件→24年度38件に増えている理由は?→関係機関との対応で解決できた件数が多かった。

(2)第6期運営協議会答申が出ていて、問題点と解決策が詳しく書かれているので市長にも目を通していただき、できることから組織改革も含めて積極的にやっていただきたい。

(3)府中市や立川市の子家センターの運営方法も参考にしてほしい。運営協議会は利用者懇談会と専門家会議に分けたらどうか。
- 西国分寺駅北口タクシー待機所について

駅前に2台は少ないので待機所を探してほしい。→東口交通広場は国分寺駅南口のタクシー待機所=タクシー協議会が管理しているので要請したい。北口スペースはJRに要請済み。他に南口の交通広場中央について検討中。
- 西国分寺駅東口交通広場の自転車駐車場について=1年間無料で暫定的に開設したものがなぜ今まで続いているのか?→(市長)大きな過ちであるので早急に結論を出して対処したい。
- 自治会・町内会について

組織率41%=大型集合住宅が入っていなかったり、組織はあっても入っていない世帯が多い。連絡会の運営について=情報提供の時間が長すぎる。もう少し参加者の立場にたった運営を。
- 国民健康保険について

24年度決算7億円の赤字。ここ4年一般会計からの繰入金8億~10億円。東大和市のレセプト分析を導入して、ジェネリック医薬品の推奨や生活指導、無駄な受診を見直せば、医療費67億円を少しでも削減できるのではないかと?
- 女性管理職の登用について

今回、選考で2人の女性課長が誕生した。今後も積極的に試験を受ける人を増やしてほしい。

市民の暮らしや財産、何より命を守る役割を!



公明党 なおの 克

- いじめ撲滅に向けて

問) いじめは、いじめる側が100%悪いということを認識していくことが、抑止力につながっていく。基本方針の策定及び、各関係機関、警察等が構成する連絡協議会の設置を求める。教育長) 検討しなければならない。いずれにせよ、つくっていく必要を感じている。

●障がい児・障がい者の支援について

問) 就学前の発達障がい児の待機児問題で、相談等、総合的な窓口創設の進捗については? 子ども福祉部長) 待機児の問題については、来年度予算編成に向けて早急に結論を出していきたい。支援窓口については、国の新制度に問

に合うように、良い体制をつくっていききたい。猶野) 障害者優先調達法が施行された。障がい者就労施設等の受注機会の増大を図るため、全庁挙げて、しっかりと取り組みをお願いしたい。

- リース方式によるLED照明の導入について

問) 防犯灯LED照明の導入については? 都市建設部長) リース料の見積をとって協議中。導入時期を含め、庁内での調整が必要。

問) 公共施設等のLED化を全庁的な課題として、方針を定めていく必要があるのでは? 市長) 今後の具体的な導入については、教育施設も含め、導入計画を各課に指示していきたい。

- 恋ヶ窪交差点・すいすいプランについて

問) 当初の計画から遅れている。非常に危険な交差点であり、一刻も早い改善を強く求めたい。市長) 早くやって頂くように、東京都及び警視庁にも働きかけをしていきたい。

- 事業継続計画 (BCP) について

問) 事業継続計画を全職員が理解し、実効力を高めていくということが一番重要なことである。総務部長) 全職員にしっかりと周知徹底をする。また課内会議等でしっかりと身につけてもらう。

介護予防や子どもの健全育成など訴える!



無党派 (生き活き) 村松 俊武

- 全国学力テストの成績が発表され、国分寺市は上位になりました。しかし、今国分寺の子どもたちは、本当に幸せで、将来のある、充実した毎日を送っているのかどうか、教育委員会はどのような認識に立っているのかをお伺いしました。つまり、今後の子ども政策は何かを考えていく基礎にしていくことです。
- 新しい井澤市長に市政の目標と財政改革についてお尋ねしました。市長は、他の議員の質問も含めて「にぎわいのあるまちをつくりたい」「責任をもってチームをまとめ、リーダーシップを発揮していきたい」「観光に力を入れていく」「厳しい財政状況にある」「予算の厳格な査定を行っていく」「行政改革等、歳出の削減を進める」「何らかの増収策を図る」「国分寺駅北口再開発からの市民税、固定資産税の増収を図る」「広告収入など収入源をさがす」「にぎわい、まちの活気、商店の活気、そして増収」など、ご自分の言葉で、はっきりとしたお考えを述べられました。私からは、議会を離れていた6年間、次のことを痛感したと話しました。「国分寺駅北口の寂しさ」「市の動き、情報が入らなかった」「財政の厳しさ、国分寺市の将来は大丈夫なのか?」などです。
- 敬老会について、参加しにくいやり方になりました。とくに、本多公民館1カ所では全市から集まるのに大変不便、しかも平日の開催で家族が送迎できないなど指摘しました。
- 高齢者の介護予防に予算を投入することで皆さんが元気になり、介護予算を使わなくてよくなるのが、市財政への貢献となる、この点を訴えたかったのですが、時間がなくなりました。国際交流、とくにアジアとの交流の必要性を質問する予定でしたが、できませんでした。

音声配信について

市議会では、第3回定例会で行われた「代表質問」と「一般質問」の様態を、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。

農業体験農園の魅力が伝わる広報を!



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

中央線連続立体交差事業に伴う公租公課分について、国立駅高架下の国分寺市が利用できる対象箇所は一番東側の約130平米に決定された。特に北口は国分寺市民の利用も多く、利便性の高い場所であることから、市民の意向を把握することを求めてきたがどのように進めるのか (答)50周年ワークショップでアンケートを実施。市報でも意見募集する。その上で隣接するスペースを持つ国立市と共同できる事業であれば連携も考えていく

環境基本計画について、計画を有効なものにするには環境教育を充実させる必要がある。特に子どもたちが自然に触れ、感じ、そして自分で考え行動できるように感性を大事に育むことが重要だ。体験から、命を大事にすることや協調性など、さまざまな力を身につけてほしい。学校での環境教育は地域密着型で地域の方の協力をさらに広げていくことを求める (答) 子どもたちを地域で育てることは大切だ。学校と教育委員会が協力して進めていきたい (問) 環境教育の充実にはそれを担う人材が必要。市民や市民団体、事業者等、教育の趣旨に賛同し協力いただける方の登録を環境部で進めていただきたい (答) 各学校が環境教育を行っていく上で内容にあったアドバイザーや環境団体を紹介できるように市内の環境団体を把握し環境教育の推進に努める

都市農業について、農業経営の一環として、農家の指導で未経験者でも安心して野菜作りができる農業体験農園の参加者を市報で追加募集しているが、その良さが伝わらない。1面を使い特徴がわかり魅力が伝わる広報の工夫を! (答) 農業体験農園は拡充していきたい。しっかりPRできるように工夫する

他に、高齢者の見守り、認知症支援、マンションを中心とした地域交流のきっかけづくり、空き家の活用について提案。

第3回定例会陳情の審議結果

- 《不採択となった陳情》
 - 陳情第25-2号 保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画に対する陳情
 - 陳情第25-5号 国分寺市奨学資金支給条例第1条(目的)の改正を求める陳情
- 《審議未了となった陳情》
 - 陳情第25-4号 年金2.5%削減中止を求める陳情
- 《継続となった陳情》
 - 陳情第24-21号 「市民の公民館の利用を有料にしないでください」についての陳情
 - 陳情第24-22号 米軍垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの配備と低空飛行訓練に関する意見書の提出を求める陳情
 - 陳情第25-1号 西東京警察病院跡地利用に関する陳情
 - 陳情第25-6号 姿見の池におけるホテル復活に関する陳情
 - 陳情第25-7号 空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書に関する陳情
 - 陳情第25-8号 消費税の税率引き上げの中止を求める陳情
 - 陳情第25-9号 (仮称)新町樹林地へのビニールハウスを設置しないことを求める陳情

行政改革 目指すのは先進市！



無会派（みんなの党） おざわ しゅう 脩

1. 行政サービスのコストについて

尾澤：質問）今後、本市は行政サービスコスト（例：図書一冊を貸し出すコスト、）算出を拡大、推進していくべきである。コストの算出は**職員のコスト意識を高め**、予算や事務執行の効率化に繋がる。公表すれば、日常的に受けている行政サービスへの**市民理解にも寄与**する。手始めに、統一算出方式により他の自治体と行政サービスコストの高低を比較できることが評価され、参加自治体が増えている「行政サービスの値札」事業に参加してはどうか。

市長：答弁）他市との行政サービスコストの比較の必要性は考えています。ご提案の件について研究させていただきます。

2. 提案型委託制度について

尾澤：質問）これまで本市では行政改革の一環として民間委託を行う事務については行政内部で事務を選定し可能性を検討、選定事務について公募をするという方法を取ってきた。しかし、この方法で民間側からの視点が薄く、潜在的に民間委託できる可能性のある事務の検討を見落としている可能性がある。これからの街づくりが「**参加と協働**」を重要視すべきであるという観点に基づけば「**聖域無き民間委託**」を考え、これまでとは逆に民間団体から委託のご提案を頂く「**提案型委託制度**」を始めてはどうか？

部長：答弁）本市でも広く門戸を広げて検討する必要があると思っている、可能性があればチャレンジしたい。

3. 情報公開について

尾澤：意見）行政情報（地図、人口統計、バスの位置等）を紙媒体ではなく、**加工できる電子情報**として、市民や民間団体に公開し活用していただくべき。時代に沿ったICT関連施策により市民や民間団体との参加と協働が進んでいく。

市民生活を切り捨てる 市政運営はやめよ



日本共産党国分寺市議団 中山 ごう

〈奨学資金支給制度を廃止するな〉

問）経済的理由により（高校）修学困難な者に対し、修学上必要な学資金を支給する制度。この制度の役割は終えていない。

教育部長）授業料の無償化が図られたことで、家庭の負担は一定軽減されたため廃止する。

***貧困の連鎖、所得の差による教育の格差などが社会問題。日本の異常に高い家庭の教育費負担、長引く不況による苦しい暮らしの実態を考慮すれば、廃止する制度ではない**

〈市立・学校図書館における図書の運用〉

問）学校から必要な図書の貸出し申請があった場合、学校が図書館に受け取りに行っていた実態は改善されたのか。

教育部長）今年の7月から配送本を運搬し、学校に届ける運用の試行を開始した。

***検証して、現場の教職員のみなさんがより利用しやすいシステムにしてほしい**

〈生活保護基準の引き下げにともなう影響〉

問）基準引き下げによって生活保護の対象外に

なってしまう市民は、あらゆる負担増になる。このような市民を市長はどのように考えるのか。国に来年以降の引き下げ中止の申し入れをするべき。

市長）デフレが続いてきたが生活保護費は据え置かれてきた。今回、必要な改正を行ったと認識している。申し入れはしない。

問）生保基準引き下げが就学援助の基準などに影響しないような対応を求める。

市長）本市だけの問題ではない。他市の動向を見極め、情報交換を行っていく。

***市民の暮らしを守る立場を表明し、その立場で多摩26市をリードする市政運営を求める**

***その他、旧高齢者生きがい事業自主グループが現在の活動場所で継続できることを確認**

ぶんバスの試験運行延期は 極めて無責任



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野）◆**ぶんバスについて**◆『新規ルートの試験運行について、7月8月に「9月から実施する」と説明しておきながら、実施しないのは**無責任な対応だ**』と指摘しました。（その後、市は建設環境委員会で「相当期間延期」と表明）**西町ルートの延伸については「本当に1月に開始できるのか」と質問、部長は「あくまでも1月を目途にやっている」と答弁しました。**

幸野）◆**公園管理について**◆公園の遊具自体の整備が行き届いていない。遊具が少ない上に汚れている。塗装も剥げていて深刻な事態だ。遊具の予算は撤去の予算しか計上されていない。**遊具についての整備計画をつくるべきだ。**

部長）問題があるものを直す対処療法的対応をしているが、計画的に対応することが重要。

市長）安全の確保が第一。その上で今後検討。

幸野）窪東公園やけやき公園の水場の清掃も頻繁に行うことで、猛暑の夏でも子ども達が遊ぶことが出来る。富士本わくわく公園には日陰が必要。全体的に市民の声を聴いて対応を。

部長）子どもが遊べる環境をつくるため**実態調査をした上で出来るところから対応していく。**

幸野）けやき公園や黒鐘公園のトイレなどの改善を。トイレがない都市公園には設置を。**財源は地域の元気臨時交付金の活用が出来ないか。**

部長）所管課と整理して検討を進めたい。

幸野）◆**保育園の民営化について**◆政府は保育園の運営費を株式会社への配当にまわせるよう検討しているが、**絶対に超えてはいけない一線だ。保育士の数も全く足りなくなっている。今は市が税金で育成してきた経験ある保育士を手放す民営化は立ち止まるべきだ。**

市長）基幹圏を中心に質の担保をしていきたい（国民健康保険税の値上げ問題については、厚生委員会で議論しました。）

福祉や防災の充実で 暮らしに安心を



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

〈障害者施策の充実を〉

岡部：障害者計画では相談支援事業所を現在の3カ所から26年度には5カ所にふやすとの目標

だが、相談支援窓口は充足されていない。市西部に相談支援窓口の設置を検討している市内法人から、市との協議がまとまらずなかなか進まないと言っている。なぜなのか。

福祉保健部長：この件については、私は相談を受けていない。なぜ進まないのか調べたい。

岡部：実現できないことはないようにしっかりと協議を進めていただきたい。

〈住宅の耐震化・不燃化の促進を〉

岡部：市民の命と暮らしを守る自治体の責務に照らして、災害の被害の予防や軽減をより重視すべき。木造住宅耐震診断と改修助成は、診断後に改修に進むのは約3割にとどまっており、補助を受けやすくすることが必要。

都市建設部長：耐震改修の実績は充分と言える段階には達していない。市として一層の取り組みが必要であり、制度見直しの検討を行う。

岡部：不燃化については新たな地域防災計画でも不十分で、わずかに延焼遮断帯となる道路などの記述があるのみ。

都市建設部長：確かにご指摘の通り不十分。今後進める都市マスタープラン改定作業において、防火の視点も含めて改定を進めたい。

〈オスプレイに関し市は国に意見を述べよ〉

岡部：オスプレイの危険性と、近隣の横田基地への配備の可能性が出てきた状況等も踏まえて、配備しないよう市として国に求めるべき。

市長：市長会で横田基地周辺市町基地対策連絡会の要請書が承認された。また東京都市長会等では東京都に対して、日本政府や米国に適時適切な情報提供について強く働きかけるようにとの緊急要請を行うこととしている。

誰もが地域で安心して 暮らせるまちを！



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■**権利擁護と成年後見制度について** 岩永 認知症高齢者が増加し、障がいのある方やその保護者の高齢化が進む中で、成年後見制度の必要性は一層高まってきており、その需要は増えることが想定される。地域に合った取り組みを進めるためにも、潜在的なニーズや課題を把握し、今後に向けた基盤整備が必要。現在策定中の地域福祉計画のアンケート調査に、成年後見制度についてのニーズ調査を盛り込むとともに、各団体等への個別の調査を。**答**検討する。**岩永**地域福祉権利擁護事業について、発達障がい等、制度の狭間にある方も含めて、支援が必要な方を確実に制度利用に繋げられるよう、相談に関わる職員・ケアマネ・民生委員等への研修や啓発を求める。**答**丁寧に説明していきたい。

■**地域防災計画について** 岩永新しい地域防災計画に盛り込まれた「福祉団体や事業者等との連携」等、共助の視点を具現化するために、災害時要援護者の支援について、地域の中での支援の担い手のネットワークを広げることが大切。協定を結んだ団体・事業者同士が顔を合わせて、自発的に情報交換できる場づくりを。**答**その方向で進めたい。**岩永**在宅避難者への支援については、各避難所を地域の在宅避難者支援の拠点と位置づけ、避難所ごとの運営マニュアルで具体化すべき。また、地域のひろばで出された災害時の地域の支え合いについての課題や解決策も反映させるべきでは。**答**そのようにする。

■**平和施策について** 戦争体験を次世代に受け

次ページに続く▶

継いでいくために、戦時中の所持品やそのエピソードを市民から募って展示すること、子どもたち自らが平和について考えることができるように、子ども聞き取り隊の取り組み、戦争体験者の生の声の映像記録を市民参加・子ども参加で作成し、平和学習に活用すること等を求めた。

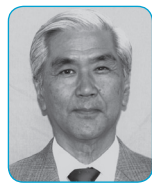
行政改革、職員の意識改革
思考停止はNO!



政策市民会議国分寺 皆川りうこ

市政運営に対して新市長の姿勢と方針は？
問) 副市長交替なく前と何ら変わらない印象だ。
市長) 行政としての継続性は必要だが自らの考え方、独自性を発揮し運営したい。
PDCAマネジメント機能しているか！
問) 行政評価等各種制度は意識改革に繋がっていきべきだが現状は？組織目標等の公表を。
答) 組織目標は職員の目標設定に繋がる。全職員対象の人事考課制度開始で勤勉手当に反映。PDCAサイクルが回り始めた。組織目標公表する。
問) 行革の一環PPP。民間企業と市とで包括提携を進めよ。AED設置・情報発信・災害時の帰宅困難者に対する支援・トイレ・駐車場提供等。
答) 市民サービスにつながる重要な検討内容だ。介護保険制度の改正により軽度者が外れる！
問) 市の基幹型地域包括支援センターの果たすべき役割は重要。今後も直営を堅持せよ。
市長) 相談内容も複雑化。直営を堅持していく。
問) 国の財政抑制策として介護保険制度が改正され要支援が対象外となる。介護予防が手薄になると重度化が進む。市としての見解は？
答) 国も審議の最中。市も対応策検討したい。
非婚一人親家庭にみなし寡婦(父)控除適用を問) 現制度は婚姻歴がないひとり親家庭は寡婦控除が適用されない。婚姻歴の有無で子育て支援を差別せず市としてみなし寡婦控除の適用を。
答) 一人親家庭の格差は承知だ。情報収集未実施で市の現状は不明。財政の影響等も考えたい。
男女平等推進行動計画 人権の尊重について
問) 性的マイノリティの人権尊重を位置づけよ。
答) 行動計画見直しの際、明記を検討したい
問) 思春期に性的に違和感を持つ場合がある。学校現場での教師の人権意識重要。人権教育を。
答) 都の教師向けの冊子に性同一性障害について記載あり。理解推進については今後の課題。

民間保育園が
突然閉園した時の市の対応は？



無党派(社民党) 釜我 健二

釜我=市の「保育の全体計画」は、現在6園ある公設公営園を1園に削減し、5園を民営化するとしている。そのワーキングチームの検討の中で、民間保育園が突然閉園した際の対応として①児童を3つの基幹園に振り分ける、②ホールや支援室を保育室に使う、③基幹型保育所担当職員2人と臨時職員で保育するとしている。しかし、①3基幹園では、保護者に通園の困難が生じないのか、②ホール、支援室がないすし詰め保育園が安全快適に機能するのか、③基幹型保育所担当職員の本来任務はどうなるのか等々、その実現性はかなり困難なのではないか。
子ども福祉部長=ワーキングチームでは、その

様な検討している。年度内にまとめて報告書を提出したい。実現性については、数字上合う計画だということだ。狭い部屋に多くの子どもを保育するのは困難があると理解している。実現可能なものをつくり上げるよう指示をする。
釜我=それが実現できる計画が構築できない時は、現在の公設公営6園を残して、緊急対応の保育園として整備することも、市は責任を持って判断すべきではないか。
子ども福祉部長=閉園時の対応はさらに深める。今すぐ計画を覆すとは言えないので、最大の配慮をもって保育をしていきたい。

新町の寄付用地について

釜我=この間、何度か取り上げてきたが、今回補正予算1,200万円が計上された。この予算執行には一定の条件整備もいると思うが見通しはどうか。
福祉保健部長=予算通過後に用地の抜根を行い、大きなビニールハウスを年度内移転したい。
釜我=障害者就労支援事業を担うOhanaの働く場を確保するための努力に感謝する。今後とも引き続きご努力をお願いしたい。

質の向上を重視し、
汗をかき、知恵を絞れ!



国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 図書館のあるべき姿に向けて、庁内連携も含め諸課題解決の道筋も明確になっていない中、果たしてアウトソーシングができるのか。改めて図書館運営協議会に「図書館の市民サービス向上に向けた指針」の具現化について諮問し、今後の方向性を明確に打ち出した上で、改めて教育委員会としてアウトソーシングの可能性を熟慮していくことを求めるが、いかがか。
教育長) アウトソーシングについては、まとめている最中。指針については、財政的な問題や施設的な問題などから遅れている。諮問については、次期に向けて検討したい。
問) 子ども・若者育成支援推進法に規定された、社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者の支援について、市役所はもちろん地域全体で取り組む体制をつくるべきと考えるが、いかがか。
市長) 相談体制等を含め総合的な支援体制をとっていくことが必要であろうと考えている。
問) 立川市では30を超える専門機関のネットワークが発足している。立川市の事業を参考に、セミナー・個別相談会を実施していただきたい。
市長) 地域全体で支援をすることは必要である。来年度の予算編成に向け、前向きに検討したい。
問) 新しい公共とは、それを必要とする私たち市民が労力や財源を提供し合いながら力を合わせてつくり上げていくものだと考える。市民活動の活性化にむけ、市民と団体とのマッチングの場を市でコーディネートしていただきたい。
市民生活部長) 市民活動センターが実施する団体交流会等で情報提供するとともに、寄附収入を増やし財政基盤が確立できるような取り組みについて意見交換をする場なども設定したい。
問) 公共調達条例は、地域経済活性化を謳っているが、実態はどうなっているのか。
総務部長) 当然、条例にのっとって進めている。

一事業で二つの果実が
得られる政策形成を!



無党派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 自転車駐車場管理を民間に任せているが、会社は他県、主に働いている方も他市。会社の利益と消費税分が乗った額を支払っている。加えて利用料横領事件も起こった。例えば、児童館や学童等は子どもに関わる専門家で、なおかつ増員配置がなされてメリットもあるだろうが、駐車場管理は市のOB嘱託等を中心に、就労支援の入口として生活保護者、引きこもり、詐欺等の被害による経済困難者、障害者等の市民に働いていただくことで、企業利益も値上がる消費税分も負担しなくて済む。まさに一石二鳥や三鳥となりうる縦割りを排した政策形成すべき。
都市建設部長) 指定管理者制度で行っていることを見直すなり検証することは重要だと思う。それがあって次のステップの検討させて下さい。
福祉センター等の複合施設を民間に任せる前に、入浴事業閉鎖、生きがい事業改変により、利用者減で、介護予防・認知症予防・地域参加のコミュニティの創出が後退だ。来年度からの管理にて民間が利用者増への働きはしないだろう。もっぱら管理・運営だけだろう。例えば生きがい事業の麻雀の2クラスだけは大幅な応募超過で、くじ引き入会だ。この際、市財政難もあるゆえ、麻雀牌や囲碁・将棋、種々のゲーム等の市民からの御寄付を募り、足を運んで貰うよう大々的なキャンペーンを行うべき。このままでは利用者が先細り、先に述べた様後退必須だ。
福祉保健部長) 指定管理に移る前に検討したい。
国立市による2年後の国立駅北口図面に対して国分寺市として積極的に意見を提示すべきだ。例えば北側からの広場の入口は歩行者は3方向からのスクランブル歩道で車は渋滞するはず。車道は減り送り迎いの駐停車スペースも激減だ。
都市建設部長) 東京都への要望も含めて、国立市との情報共有、交換をより進めます。

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

第3回定例会終了後、平成25年第4回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 10月17日(木) 議会運営委員会
- 10月25日(金) 厚生委員会
- 11月1日(金) 建設環境委員会
- 11月5日(火) 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 11月8日(金) 文教子ども委員会
- 11月12日(火) 総務委員会
- 11月15日(金) ごみ対策特別委員会
- 11月25日(月) 代表者会議

※いずれも市役所第1庁舎3階で午前9時30分より開催する予定です。

議事担当(内468)

次の定例会開催予定

平成25年第4回定例会は、11月27日(水)から開催の予定です。ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。
※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

市議会を傍聴してみませんか

前市政でできなかった行革を今こそ実現へ！



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村＝フロアマネージャーを前市長が廃止し、来庁される市民が不便を被っているが、復活させるべきだ。

市長＝復活させる。ただ、以前の様な再任用職員を配置するかについては検討する。

木村＝いくつかの部署では致命的な事務のミスが続発しており、適材適所になっておらず、組

織が硬直化している。年度替わり等の定例人事異動だけではなく、適宜適切に行うべきだ。

市長＝人事異動の持つ意味は大きい。本人の能力や、適材も考慮し、定例以外にも行っていく。木村＝前市長は職員の効率的な業務を指示できず、自ら約束した超過勤務15%削減も達成できなかった。新市長は底上げした目標設定を。

市長＝仕事のやり方を見直さねばならない。正規職員は嘱託職員等でできる仕事ではなく、正規だからできる仕事をやり、また1つ上の階級の仕事を意識しながら仕事をさせる。そのことで超過勤務が減るような仕事の仕方をしていく。

木村＝再開発に関わり、決定した特定建築者の提示額が市の想定より約53億円多かった。使う

のは簡単だが、大規模災害等、不測の事態に対応する財政調整基金も枯渇し、その分を庁舎建設基金の廃止で対応している状況で、このお金には当面使うべきではない。

政策部長＝将来の庁舎建設も視野に入れ検討する。罹災救助基金に積み立てることも考える。

木村＝昨年12月の総選挙で、票の取り違えという重大ミスが生じ、今回の参議院選挙で再び、しかも三件も発生した。しかし9月まで、原因究明等何も対応していない。同様に三票の取り違えが生じた周南市では選管事務局長は懲戒処分になっている。市長が適切に対応すべきだ。

市長＝選管委員長と協議し対応する。(10月1日付で係長に降格の人事異動が行われました。)

第2回臨時会議案審議結果

第2回臨時会には新規3件の議案が提出され、承認2件、可決1件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 3 items.

第3回定例会議案審議結果

第3回定例会には新規30件の議案が提出され、承認1件、同意2件、可決18件、撤回9件となりました。

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案の要旨, 結果. Contains 30 items.

第3回定例会において賛否の分かれた議案に対する議員の表決結果

Table with 13 columns: 会派名, 議員名, and 11 individual names. Rows show voting results for 4 specific bills.

・表決 (○=賛成 ×=反対) ・会派名 (政策市民=政策市民会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク)